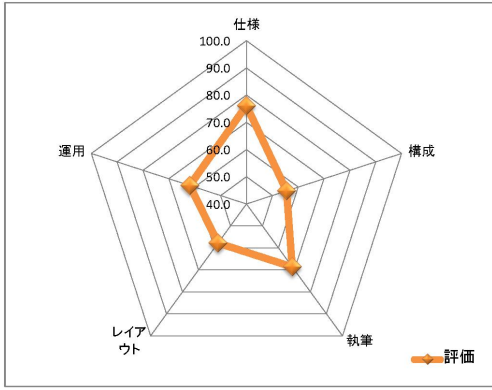


マニュアル診断リスト

■診断対象アイテム:

診断日: 診断者:

■総合評価



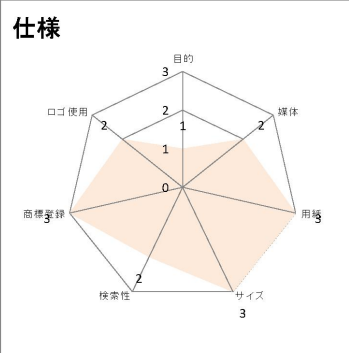
【総合】

このマニュアルは、**仕様**、**執筆**、**運用**の項目で比較的高い評価を得ている一方で、**構成**と**レイアウト**の項目では評価が低く、改善の余地がある。特に**構成**については、目次構成や分冊構成の整理が求められる。また、**レイアウト**については、表紙のデザインや図版の効果的な活用が今後の課題である。

カテゴリ	得点
仕様	76.2
構成	55.6
執筆	68.6
レイアウト	57.8
運用	61.9
合計	320.1
総合評価	C

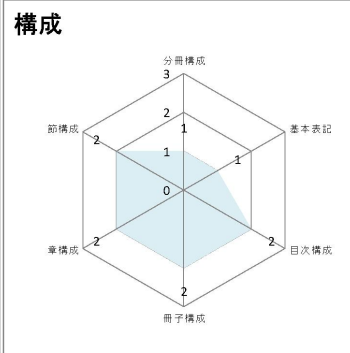
- A: 問題なし
- B: ほぼ問題なし
- C: 補強が必要
- D: 全面的な改訂が必要

■カテゴリ別評価



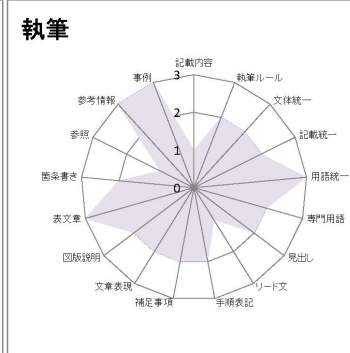
【仕様】

仕様は、マニュアルの骨格を決定する重要な要素である。このマニュアルは、目的、ロゴ使用、標準字種、検索性、サイズ、用語、図表、罫線などの項目で評価されている。特に「検索性」と「サイズ」の項目で高い評価を得ている一方で、「罫線」の項目では評価が低く、改善の余地がある。



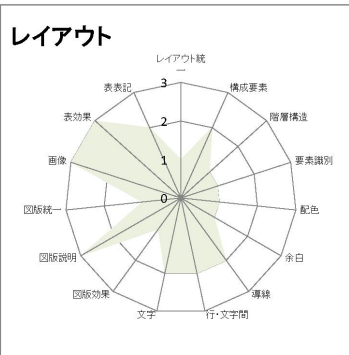
【構成】

構成は、マニュアルの読みやすさと整理性を決定する重要な要素である。このマニュアルは、分冊構成、基本表記、目次構成、冊子構成、章構成、節構成などの項目で評価されている。特に「目次構成」と「冊子構成」の項目で高い評価を得ている一方で、「分冊構成」の項目では評価が低く、改善の余地がある。



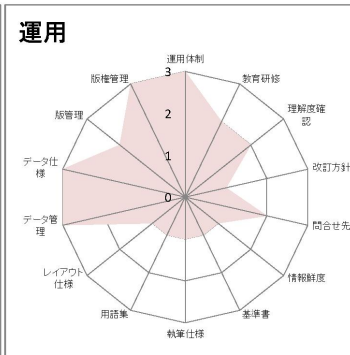
【執筆】

執筆は、マニュアルの正確性と読みやすさを決定する重要な要素である。このマニュアルは、記載内容、執筆ルール、用語統一、見出し、リード文、手帳表記、補足事項、文章表現、図版説明、表文章、図表書き、参照、参考情報、事例などの項目で評価されている。特に「用語統一」と「見出し」の項目で高い評価を得ている一方で、「記載内容」の項目では評価が低く、改善の余地がある。



【レイアウト】

レイアウトは、マニュアルの視覚的な印象と読みやすさを決定する重要な要素である。このマニュアルは、レイアウト統一、構成要素、階層構造、要素識別、配色、余白、導線、行・文字間、文字、図版効果、図版説明、図版統一、画像、表効果、表表記などの項目で評価されている。特に「余白」と「導線」の項目で高い評価を得ている一方で、「レイアウト統一」の項目では評価が低く、改善の余地がある。



【運用】

運用は、マニュアルの維持管理と更新を決定する重要な要素である。このマニュアルは、運用体制、教育研修、理解度確認、改訂方針、問合せ先、情報鮮度、基準書、執筆仕様、用語集、レイアウト仕様、データ管理、データ仕様、版管理、版権管理などの項目で評価されている。特に「改訂方針」と「問合せ先」の項目で高い評価を得ている一方で、「運用体制」の項目では評価が低く、改善の余地がある。